

当院の特徴的な治療について

当院では血液疾患とアレルギー疾患に特に力をいれています。具体的には

- ① **気管支喘息**:喘息、喘息様気管支炎などの発作の治療、日常の管理など
- ② **食物アレルギー**:食物アレルギーの診断と負荷試験、食べられるようになることを目標としてできるだけ、除去しない治療を提案します。
- ③ **アトピー性皮膚炎**:中等症から重症の患者さんに対する全身療法を行っています。具体的にはデュピクセントなどの生物学的製剤の注射、リンヴォックなどの JAK 阻害剤の服薬、新規軟膏であるコレクチム、モイゼルトなどの提案を行います。
- ④ **アレルギー性鼻炎**:抗アレルギー剤の服用だけでなく、スギ花粉、ダニに対する舌下免疫療法を提案しています。
- ⑤ **夜尿症**:6 歳になってもおねしょが何回もあるようなら、夜尿症の可能性があります。治療介入したほうが速く治癒する可能性が高いと言われています。抗利尿ホルモンの服薬、アラーム療法などを提案しています。
- ⑥ **伝染性軟属腫(水いぼ)**:治療しなくても治ると言われていますが、治癒するまで長期間かかる可能性があります。そのため、急に増えてきた、プールに入れれないなどの時には除去を勧めています。麻酔のテープを貼ると痛みはほぼなく除去できます。
- ⑦ **熱傷**:当院では湿潤療法を行っています。従来の軟膏治療に比べて痛み、治癒までの日数、植皮などの可能性が少なくなるなど利点が多いです。湿潤療法をしたその日から痛みがほとんどない生活が送れます。
- ⑧ **漢方薬治療**:夜泣き、めまい、胃もたれ、食慾不振、腹痛、生理痛、喘息発作、花粉症など西洋薬だけでは軽快しない状態に漢方薬を併用することで非常に楽になることがあります。苦くない漢方薬も多く、意外にお子さんでも飲める場合が多いです。
- ⑨ **血液疾患**:鉄欠乏性貧血などの貧血に対する薬物療法。血友病、フォンウィルブランド病などに対しての製剤の定期投与、出血時の対応を行っています。。